

# ハローキャリアワーク通信

令和6年8月12日  
教育総合センター  
事業推進担当課

今回は、日本各地の魅力をZ世代が発信する食のイベント「第2回世田谷グルマンサミット」を主催する東京山手調理師専門学校よりオファーを受け、『おいしい焼き菓子』づくり、販売に挑戦することになりました。小学



5年生から中学2年生の18名（当日欠席者2名）が参加し、その第1回目が8月12日に行われました。猛暑の中、会場の東京山手調理師専門学校に9時30分に集合し、教育委員会からの諸注意の後、担当の秋元真也様から「グルマンサミット」

の主旨である「地域の魅力を発見し、おいしいものを思考し、おいしいもので作る笑顔を世田谷から発信する」というお話を伺いました。そして、今回の講師である香田晃宏先生、山浦孝一先生の自己紹介を含めた紹介、他のサポートして下さる職員、生徒さんを紹介していただきました。



その後、今回で身につけたい力として「社会貢献力、提案力、実行力」が示され、その重要性を説明されました。

さらに、今回のお願いとして「お菓子の考案」「商品制作」「当日の販売」の3つの取組みを示していただきました。その中で秋元様の思いとして、「自分の考えたものが販売される経験できる夏。忘れられない思い出にしてほしい」と訴えていました。いよいよ、焼き菓子（クッキー）について、話が進みました。「クッキー」を考えたとき大切なことは、「どんな味、食

感にするか?」、大量に作れ、おいしそうに見えるには「どんな見た目にするか?」さらに、買ってもらえる商品名として「どんな名前にするか?」と3つ示されました。そのことを、グループワークの最後に発表の視点として盛り込む

ということで、説明を終えました。その後、「焼き菓子作り教室」の見学をし、大きなオープンを見せてもらいました。教室に戻り、グループごとにサポートの先生、職員、生徒さんが割り振られ、グループの作業になりました。初めは、各自の紹介タイムとして、先生、職員、



学生さんがリードして下さり、名前や好きな食べ物などを言い合い、雰囲気を楽しませていただきました。また、グループの名前決め、それぞれ「チームCats、チームフラミンゴ、チームイルカ、チームとりパンダ」となりました。他に発表者なども決めているグループもありました。

まず、子どもたちは「味や食感」を出し合っていました。メロン味、チョコレート、甘じょっぱく、抹茶味など、様々な味がありました。また、形も「カメの甲羅の模様」「ドーナツ」「メロン型」「マカロンのようにふっくら」など思いつく案を出していました。また、その考えを受けて、先生からは、「チョコレートは溶け

日本各地の魅力をZ世代が発信する食のイベント  
第2回 世田谷グルマンサミット  
世田谷区の小中学生や高校生、日本各地の高校生、専門学校が地域の魅力を発見し、おいしいものを考案。おいしいで作る笑顔を世田谷から発信する。それが世田谷グルマンサミットです。  
開催日時 8月22日(木) 10:00-16:00  
入退場自由 費用無料 定員200名  
開催場所 東京山手調理師専門学校  
申し込みフォーム 8月16日(金)18:00締切  
10:00 開会式  
10:30 プレゼンテーション (模擬店出展者の紹介)  
11:00 模擬店スタート 各ブース200円~500円  
12:30 万博弁当試食会(予約制) 3500円  
模擬店出展の手引きと商品考案のヒントをテーマに、日本各地の魅力を発信し、商品考案を行います。  
主催：学校法人村川学園 東京山手調理師専門学校  
協力：世田谷区教育委員会 世田谷総合高校/慶芸高校 野田鎌田学園高等学校/野田鎌田学園杉並高等学校 野田鎌田学園横浜高等学校  
登録商標 © High Brand College 東京山手調理師専門学校  
〒118-0001 東京都世田谷区南町2-10-18





るから、入れることは難しいけど、載せられるかな？」と修正して下さっていました。

他のグループでも、絵で表したり、細かく説明を書いたりして話をまとめるようしていました。途中で休憩を取り、各グループともまとめにかかり、



発表の時間になりました。各グループは、それまでにまとめた考えを基に発表を行いました。まず、「チームCats」です。次に「チームフラミンゴ」、「チームイルカ」最後に「チームとりパンダ」で、それぞれ美味しそうで、すぐにでも食べてみたくなる「クッキー」でした。最後に今日の振り返りの時間になり



各自がシートに書き込み始めたときに、香田先生、山浦先生が教室から退出されました。そして、振り返りが終わり、秋元様がTVで取り上げられた「東京山手調理専門学校」の映像を流して下さっている中で、先生方が戻られ、「みなさんの考えた『クッキー』の試作品を作ってみました。」と鉄板に載った出来たての「クッキー」の試食をさせていただきました。歓声の中、これが「抹茶味」などと説明を受け、子どもたちは自分たちが考えていた「クッキー」が目の前に現れ、試食できたことに驚いていました。また、作り方も教えていただきました。

